

水害時において発令される避難情報等

警戒レベル	避難情報等	とるべき行動
警戒レベル 1	早期注意情報 (気象庁)	災害への心構えを高める
警戒レベル 2	大雨・洪水注意報 (気象庁)	自らの避難行動を確認
警戒レベル 3	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難	高齢者等避難 高齢や障害等の理由で避難に時間がかかる方は、雨風が強くなる前に早めに避難しましょう。
警戒レベル 4	ひなんしじ 避難指示	全員避難! 避難対象地域の方は、速やかに避難行動を開始しましょう。
警戒レベル 5	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保	命を守る行動を! むやみに外へ出ることが危険な状況です。自宅の2階以上に移動するなど、少しでも安全と考えられる行動をとりましょう。

※上記の避難情報は、区ホームページや防災行政無線、テレビ、ラジオなどを通じてお伝えします。詳細は、裏面の「避難情報や気象情報等の入手方法」を参照してください。

台風の接近前に、以下の再確認・準備を行いましょ

- ✓ 避難先や避難路の確認
- ✓ 家の周りの点検・清掃
- ✓ 非常用持出品、備蓄品の確認・準備
- ✓ 土のう、止水板等の準備
- ✓ 気象情報、河川情報の確認



非常用持出品チェックリスト(参考)

- 貴重品 (現金、身分証明書等)
- 携帯電話 (充電機等)
- 応急医療品 (常備薬、持病薬等)
- 非常食、飲料水
- 雨具 (かさ、雨がっぱ)
- 衣類 (着替え、タオル等)
- ティッシュ、ウエットティッシュ
- マスク
- 手指消毒液
- 体温計



警戒レベル 3 「高齢者等避難」発令

高齢や障害等の理由で避難に時間のかかる方は、この時点で避難を開始します。雨風が強くなる前に、早めに避難を始めましょう。それ以外の方は、非常用持出品の準備などを進め、避難に備えましょう。

地域での助け合い

避難所において隣近所に声をかけ合い、地域における共助の意識を持って行動することは、地域被害の軽減に繋がります。

お年寄りなどの避難に協力を

お年寄りや子ども、障害のある方などは、災害が発生した場合、情報収集や避難行動などにおいて、より一層の支援が必要となります。地域で協力して避難しましょう。



「高齢者等避難」発令時は、公共交通機関等が機能している可能性があります。徒歩での避難が難しい方は早めに避難をお願いします。



警戒レベル 5 「緊急安全確保」発令

多摩川の氾濫など、すでに災害が発生または切迫しているため、むやみに外に出ることは危険です。自宅の2階以上に移動するなど、少しでも安全と考えられる行動を取ってください。

警戒レベル 4 「避難指示」発令

避難対象地域の方は、速やかに避難行動を開始してください。

すいちよくひなん 垂直避難

自宅の2階以上などへ移動すること。安全な場所まで避難する時間がない場合などに行います。



陸閘(りっこう)について

玉川一丁目1~11番、玉川三丁目1・3番は、堤外地という位置づけになっており、多摩川が越水する場合には、陸閘(りっこう)を閉鎖することになっております。



(平時)

(閉めた状態)

避難する際の注意点

- ✓ 地下室や地下駐車場は、水が流れ込むと水圧でドア等が開かない危険性があります。
- ✓ マンホールの蓋が吹き上がることがあるので近寄らないようにしてください。
- ✓ 水害時避難所には、駐車場はありません。



避難所に行くことだけが避難ではありません

避難所を利用する以外にも、以下のように様々な避難方法があります。これらの方法は、感染症の感染リスクを下げることにもつながります。自身や家族に合った避難方法や避難先を今一度考えてみましょう。

じしゅひなん 自主避難

自身で宿泊施設等を確保して避難する。

えんこひなん 縁故避難

浸水のおそれがない家族や親戚、友人の家に避難する。

ざいたくひなん 在宅避難

自宅に浸水のおそれがない場合は自宅で過ごす。



各家庭において、1週間程度の備蓄(1人1日3ℓの飲料水、食料、携帯トイレ、常備薬など)をしておきましょう!